

「住みたい・住み続けたいまち」 を目指して



大網白里市長
かねさかまさのり
金坂昌典

平成25年1月1日に、市制施行により「大網白里市」が誕生しました。

豊かな自然と都市が共存する「田園都市」

大網白里市は、東京都心から50〜60km圏域に位置し、九十九里平野のほぼ中央にあります。自然豊かな丘陵部、住宅や都市的機能が集積している西部、田園風景が広がる中部、アカウミガメの孵化やハマヒルガオの群生も見られる海岸部に分けられます。

前身の大網白里町は、昭和29年に大網町、白里町、増穂村の2町1村が合併して誕生しました。

当時の人口は、2万5000人余りであり、農業と漁業を中心とする町でしたが、駅や道路の建設など交通網の整備が進み首都圏のベッドタウンとして人口が急激に増加し、豊かな自然と都市が共存する田園都市へと発展してきました。

本市は歴史あるまちでもあり、明治2年、本國寺に安房上総知県事が管轄する宮谷県の庁舎が置かれ、現在も宮谷県庁跡の碑が残されています。

笑顔があふれ活気に溢れるまち

本市は、米作り野菜作りが盛んで、朝市や白里遊楽市が開催されており、新鮮

な野菜、水産加工品や手作り食品、この地域ならではの産品も並び、活気に溢れています。

白里海岸では、夏は、海水浴や地曳きまつりで大勢の来遊客が訪れます。都心から1時間のビーチとして、若者にも人気があり、サーフィンなどマリネレジャー客が年間を通じて訪れ、にぎわっております。今後、圏央道の開通により、ますます便利になることが期待されます。

住環境では、道路、公園や下水道などの都市基盤の整備を進めるとともに、市の顔であるJR大網駅周辺の土地画整理事業をはじめ良好な住宅街地形成に努めています。

市制施行により、今後、都市的イメージが高まり、企業や商業施設の進出で

新市プロフィール



- 人口 5万1135人(平成25年1月1日現在)
- 世帯数 2万266人(平成25年1月1日現在)
- 面積 58.06km²
- 主要産業・特産品
農業、水産加工業、小売業
宮谷もち、イワシのゴマ漬け、みりん干し、はまぐり・ながらみ、煮干し
- 観光名所・旧跡
宮谷県庁跡(本國寺)、小中池公園、白里海岸
- 行事・イベント
鯉のぼりまつり(4月)、地曳きまつり(8月)
産業文化祭(10月、11月)、元旦祭り(1月)



夏の恒例イベント「地曳きまつり」

え、ともに行動するとともにチャレンジする、未来につなぐまちづくりを全力で取り組んでまいります。

就労の場が充実し、市民の利便性もいっそう向上すると考えております。

新たな歴史がスタートした大網白里市。自治体としての魅力をより一層高め、市民と行政がともに考